

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月24日		記入者	連絡先	2684
部 名	保健福祉部	課 名	障害福祉課	課長名	篠崎 正義
事務事業名	障害者施設通所交通費助成金支給事業				
予算上の事務事業名	更生施設等通園・通所者交通費助成				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11310		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加				事業開始年度
施策名	第1施策 自立した生活を実現するための環境づくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市障害者施設通所交通費助成金支給要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市障害者福祉計画		障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画（前期H10～14、中期H15～18、後期H19～22）○地域福祉サービス		
計画年次	10	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）</p> <p>相模原市に居住する障害者が更生施設等への通所に要する交通費の一部を助成することにより、障害者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。</p> <p>(2) 対象（誰、何）</p> <p>市内に居住し、更生施設等に通所する障害者</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>公共交通機関を利用し更生施設等に通所する障害者に対し、利用経路の交通費の半額を交付した。  (平成17年度決算見込額)  (1) 相模原市分 45,840,000円（延べ利用者数：9,550人）</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	神奈川県内においては各市同様の制度を実施している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	46,242	43,590	45,840	52,478	52,478
一般財源	46,242	43,590	45,840	52,478	52,478
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,580	1,580	1,580	1,580	1,580
事業コスト合計	47,822	45,170	47,420	54,058	54,058
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	障害者施設通所交通費助成金支給事業			対象名称 と単位	公共交通機関を利用する施設等通所延べ人数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	47,822	45,170	47,420	54,058	54,058
対象数	9,345	9,381	9,550	10,365	10,365
単位あたり経費(円)	5,117	4,815	4,965	5,215	5,215
前年度比		0.94	1.03	1.05	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	交通費支給実人数	指標式と指標の説明	通所利用（地域生活）への推移（実人数）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	843.0	861.0	884.0		
目標	840.0	860.0	880.0	940.0	960.0
目標達成度（%）	100.4	100.1	100.5		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	施設通所者のうち支給を受ける者の割合（%）	指標式と指標の説明	通所交通費支給実人数/施設通所者		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	83.2	76.7	86.4		
目標	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0
目標達成度（%）	100.2	92.4	104.1		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		支給回数が増が望まれていることから、実現には事務量の増大を招かないための事務改善が必要となるが、障害者自立支援法による施設利用の自己負担増が発生する中で通所に要する費用を支給することは事業価値が高い。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
現在、年2回（6ヶ月に1回）の割合で支給しているが、通所者の交通費負担期間の短縮化を図るため支給回数の増加を検討する必要がある。コスト面については交通費の実費算定、請求額の確認に時間を要するため、算定方法、請求方法の事務負担軽減を検討する。			・通所者によっては6ヶ月の交通費負担が大きいこと ・算定方法、請求方法の事務負担が大きいこと		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			